

平成30年 5月
宇都市立琴芝小学校
保健室

ほけんだより

さわやかな風の吹く季節になりました。晴れ渡った空に泳ぐ鯉のぼりが鮮やかです。琴芝小学校にも、人々と泳いでいますね。

5月5日は「子どもの日」ですね。以前は、「子供」という漢字を使っていましたが「子ども」という、ひらがなになぜ変わったのでしょうか？「子供」の「供」という漢字は「神様からのお供え物」という意味があり、「そなえる」から取つたそうです。しかし「供」という漢字は大人の手下という意味があり、あまりよいイメージではない為「子供」から「子ども」に変わりました。

子どもの日は「端午の節句」と言いますね。端午の節句は、隣の中国から入って来たもので、多種多様の魚が激しい流れの川をくだり、さらに滝を登ろうとしたところ、鯉だけがてっぺんまで登ることができ竜になったそうです。鯉の滝登りをイメージし、のぼりに鯉を書いてお祝いをしていたのが「鯉のぼり」の最初だったと言われています。

「鯉のぼり」には、子どもの成長を願い、出世魚にあやかって「強くたくましく育ってほしい」と言う願いが込められています。





は ゆうりょうじ 歯の優良児

ねん くみ とみ たゆうすけ ねん くみ はくの まお ことしばしょうがつこう
6年1組 富田侑良さんと6年2組 伯野真緒さんが、琴芝小学校の

は ゆうりょうじ えら
歯の優良児に選ばれました。

二人は、まいにち じ かん はみが
毎日ていねいに時間をかけて歯磨きをしているそうです。

みな むしば ほん め ざ はみが
皆さんも「虫歯0本」を目指して、歯磨きをがんばりましょう！

保護者様

学校保健安全委員会



5月22日（火）の10時20分から学校保健安全委員会が開催されます。
その時に、田村歯科校医さんが10月から始まります「フッ化物洗口について」
詳しくお話をされます。

フッ化物洗口は、歯と口の健康づくりに関する環境整備のひとつの手段として大変有効な方法であり、また、フッ素によって歯質を強くするとともに、子どもたちの口腔ケアに対する意識が向上するなどの効果があるとされています。

近年、生活習慣病の低年齢化が進んでおり、これに伴い歯科疾患が生活習慣病を誘発し、重症化させることが明らかになってきました。まさに歯と口腔の健康が全身の健康につながっており、乳歯が永久歯に生え変わる時期から、歯と口の健康づくりを通して、自らの健康を管理し、改善できる子どもたちを育てることがますます重要となっていました。

たくさんのご参加をお待ちしております。

